

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃
----	------	----	-------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんあわじにんぎょうきょうかい 公益財団法人淡路人形協会		
代表者職・氏名	理事長 正井 良徳		
制作団体所在地	〒 656-0475 兵庫県南あわじ市市三條880番地		
電話番号	0799-42-6060	FAX番号	0799-42-6060
ふりがな 公演団体名	あわじにんぎょうざ 淡路人形座		
代表者職・氏名	統括責任者 福田 龍八		
公演団体所在地	〒 656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先		
制作団体 設立年月	1964年 4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 正井良徳 副理事長 小林健司 副理事長 上居宏次 事務局長 中村勝年 淡路人形座統括責任者 福田龍八	淡路人形座:人形遣い10人 太夫4人 三味線2人 事務員2人 評議員会による承認と面接及び実技	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	島田 健太郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	島田 健太郎

<p>制作団体沿革</p>	<p>【昭39】淡路人形座設立  【昭44】淡路人形浄瑠璃育成保存会設立  【昭45】淡路人形浄瑠璃育成保存会を淡路人形協会と改称  【昭51.5.4】淡路人形浄瑠璃が国指定重要無形民俗文化財に指定された  【昭52】淡路人形協会と淡路人形座が合併し、財団法人淡路人形協会となる  【平26.4.1】公益財団法人に移行</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2015年 高砂市立高砂小学校、香住町中央公民館  2016年 姫路市立大塩小学校、明石市市民会館、渋谷区文化総合センター大和田  2017年 淡路市立学習小学校、姫路市立大津茂小学校、国立劇場  2018年 丹波市立ライブピアいちじま、白河市文化交流館、草加市文化会館、  伊丹市立伊丹高等学校、姫路市立網干西小学校、稲美町立母里小学校、  北海道平取町内小中学校、札幌市こどもの劇場やまびこ座、  兵庫県立津名高等学校  2019年 兵庫県立洲本高等学校  2020年 兵庫県立西宮東高等学校 南あわじ市立北阿万小学校 洲本第一小学校  2021年 兵庫県立高砂高等学校 淡路市立志筑小学校 南あわじ市立辰美小学校  神戸市立高羽小学校 淡路島内小中学校ワークショップ多数  奈良県生駒市立生駒南第二小学校</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>2012年 長崎県大村支援学校  2014年 北海道八雲養護学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 淡路人形座】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	500年の伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」を一緒に体験しましょう			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	①【戎舞】淡路人形に伝わる神事(エビスカキ)を舞台上に脚色した演目 ②【人形浄瑠璃教室】太夫・三味線・人形遣いの役割を体験も交えてわかりやすく説明します。 ③【本朝廿四孝 奥庭狐火の段】原作:近松半次・三好松洛他 公演時間(約100分 途中休憩10分含む)			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p><b>【戎舞】</b> 五百年の歴史と伝統を誇る、国指定重要無形民俗文化財の淡路人形浄瑠璃。淡路島の人形操りの起源については、諸説ありますが、中世に摂津国西宮(現在の兵庫県西宮市)の戎かきと呼ばれる傀儡師(くぐつし・人形遣い)が島に移り住み伝承したと伝えられています。戎かきは、西宮戎神社の信仰を広めるため、戎神の人形を舞わせご祈祷し、お札を配って歩いた芸能集団で、江戸時代の文献にもこの傀儡子の移行があったことが記されています。これが今日まで伝承されている「戎舞」です。島内でも昭和初期までこの風習が続き、各家には座本名の入ったお札も現存しています。</p> <p>劇中では、福の神・戎さまが庄屋の家に来て、振る舞い酒の杯を重ね、生い立ちなどを語っては舞い、その後、船で沖に出て大きな鯛を釣りあげるというお話です。かつては、漁村の人形芝居で必ず上演され人々に愛され続けてきました。</p> <p>中世から伝承され、その様式美を今に伝える「戎舞」には、戎顔でおおらかな心を持ち、どんな困難にも前向きに生きていくという庶民の幸せへの祈りが込められています。願い事を叶えようと、戎さまは御神酒を飲み、祈り、そして幸せを運びます。酔っ払った戎さまは、表現力豊かに本当に命が宿っているように舞い、見るものに笑いも交え、心豊かに楽しく、その単純でわかりやすい内容は、幅広い年齢層に理解が可能です。</p> <p><b>【本朝廿四孝 奥庭狐火の段】</b> 本作は、近松半次・三好松洛らの合作で浄瑠璃及び歌舞伎、日本舞踊の演目のひとつです。全五段の時代物で明和3年(1766)1月より大坂の竹本座での初演以降、人気外題のひとつに名を連ねるようになりました。中でも「奥庭狐火の段」は、三味線とその連れ弾きや琴が奏でる名曲「狐火」と、人形と人形遣いが一瞬で早替りする演出がみどころで、視覚的にも音楽的にも優れた作品で、人形芝居独特の華やかな魅力が溢れる演目です。</p> <p>あらずじは、甲斐の武田信玄と、越後の長尾(上杉)謙信は長年にわたり敵対しており、それを憂いた将軍足利義春は両家に和睦を命じ、信玄の息子・勝頼と、謙信の息女・八重垣姫の婚儀が決まりました。しかし、将軍が何者かに暗殺され、両家に疑いがかりましたが、犯人を見つけ出せなかったために、勝頼は切腹を命じられます。悲しみに暮れる八重垣姫でしたが、死んだのは偽者で、本物の勝頼は花作りを身をやつして生きていたことを知ります。しかし父謙信も、その秘密を知り、勝頼に刺客を差し向けるのでした。八重垣姫はそのことを勝頼に知らせようと思いましたが、姫の足では刺客に追いつけず、おまけに諏訪湖は凍っているため船を出すこともできません。そこで奥御殿にまつた諏訪明神の力が宿る武田の重宝・諏訪法性の兜にお祈りすると、不思議な事に狐が現れます。八重垣姫はこの兜を手にして、ここかしこに燃え立つ狐火を力に、飛ぶが如くに勝頼のもとへと急ぎ向かいます。といった内容です。</p>			
演目選択理由	<p>人形浄瑠璃は、太夫・三味線・人形遣いの三業が一体となった総合舞台芸術です。本事業では、人形浄瑠璃独自の三業の体験を通して子どもたちのコミュニケーション能力や想像力、思考力を豊かにします。</p> <p>また、公演鑑賞では、人形浄瑠璃を伝承するプロ集団が演じる日本の伝統芸能を間近で生で見ることにより、その魅力を直に感じる事ができます。見ている子どもたちも同様に、どのようにお互いが協力しあっているか、どんな工夫が必要かなどを客観視できます。</p> <p>単純でわかりやすい内容なので、演じる側も鑑賞する側も、同時に芝居の楽しさが理解でき、幅広い年齢層が積極的に取り組めるこの演目を選択します。</p> <p>②「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」は、浄瑠璃及び歌舞伎、日本舞踊といった日本を代表する伝統芸能でも演じられる人気の高い名作のひとつです。淡路人形浄瑠璃特有の早替りや三味線・琴の連弾き、華麗で優美な八重垣姫のほかに神の使いの狐がコミカルな動きで登場するなど、アツと驚かせるようなケレン味あふれる演出が盛り沢山の演目で、子どもたちの興味や関心がおのずと高まり、劇中に歓声が上がるといって過言でないほどの学校公演でも好評を得ています。500年の歴史と伝統を誇る淡路人形浄瑠璃の魅力を必ずや感じてもらえる演目なので選択しました。</p>			

<p><b>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</b></p>	<p>①「戎舞」の公演では、淡路人形座の座員と一緒に舞台上立って共演する体験をしてもらいます。子どもたちには、戎さまに御神酒を注ぐ庄屋の使用人役の人形を三人遣いで演じていただきます。また、この演目には、戎さまが人々の願い事を祈る場面があり、事前に子どもたちに願い事を書いてもらい、劇中で披露していくことにより、鑑賞者と演者との一体感が促進され会場はより一層盛り上がります。</p> <p>②「人形浄瑠璃教室」では太夫・三味線・人形の役割などを体験も交えて解説します。</p> <p>太夫の体験では全校生で「笑い」をテーマに色々な人物の語り分けをします。太夫とともに全員が一斉に声を出して、劇中さながらの義太夫節の体験により豊かな感情を育みます。三味線の体験では児童、生徒さんに手拍子を打って頂き、そのリズムに合わせて技芸員が三味線を演奏します。人形遣い体験では一体の人形を三人で遣う三人遣いを体験することによって協調性や発想力を養えます。</p> <p>③「本朝廿四考」の公演前に、人形浄瑠璃を楽しく鑑賞できる方法を体験型の分かりやすい方法で説明します。例えば「この場面で一斉に拍手を入れると盛り上がるので、座員の合図に合わせてみんなで拍手をしましょう。」といった舞台を盛り上げる全体練習を行いながら、子どもたちと座員との交流を図っていきながら、伝統芸能の魅力や醍醐味について学びます。</p>																				
<p><b>出演者</b></p>	<p>○太 夫: 竹本友庄、竹本友和嘉、竹本友里希、竹本友富士 より2名</p> <p>○三味線: 鶴澤友勇(2015年重要無形文化財義太夫三味線保持者認定)、鶴澤友弥 2名</p> <p>○人形遣い: 吉田新九朗、吉田史興、吉田徳藏、吉田廣の助、吉田光太郎、吉田幸路、吉田千紅、吉田青豊、吉田松永、吉田明玉 より7名</p>																				
<p><b>公演出演予定者数 (1公演あたり)</b></p>	<table border="1"> <tr> <td>出演者:</td> <td>11</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合 計:</td> <td>13</td> <td>名</td> </tr> </table>	出演者:	11	名	スタッフ:	2	名	合 計:	13	名	<p><b>機材等 運搬方法</b></p>	<table border="1"> <tr> <td>積載量:</td> <td>1.5</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>車 長:</td> <td>5.1</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>台 数:</td> <td>2</td> <td>台</td> </tr> </table>	積載量:	1.5	t	車 長:	5.1	m	台 数:	2	台
出演者:	11	名																			
スタッフ:	2	名																			
合 計:	13	名																			
積載量:	1.5	t																			
車 長:	5.1	m																			
台 数:	2	台																			

【公演団体名 淡路人形座 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間	2.5	時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～11時	13時～15時	10分	15時～17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		参加人数:1学年(100名程度まで)			
	本公演		共演参加人数:9名程度 鑑賞人数 500名程度			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>●淡路人形浄瑠璃のお話(歴史や太夫、三味線、人形遣いの三業を楽しく、わかりやすく)</p> <p>①映像を交えてわかりやすく歴史とお芝居のあらすじや雰囲気などを説明します。</p> <p>②太夫のワークショップでは、義太夫節や独特の発声方法などをわかりやすく解説します。また、床本(太夫が舞台上で使用する見慣れない特徴のある浄瑠璃文字で書かれた台本)を使い太夫の発声方法で「武士」「お姫様」「お年寄り」などの人物のセリフを生徒全員で語っていただきます。</p> <p>③人形遣いのワークショップでは三人遣い、頭(カシラ)と右手を遣う「主遣い」と、左手を遣う「左遣い」、足を動かす「足遣い」の人形の構造や遣い方をわかりやすく解説いたします。児童、生徒に三人一組で人形を遣っていただきます。本公演では、代表9人の児童、生徒に「戎舞」で共演していただきます。</p> <p>それぞれの役割が持つ技や表現方法の難しさや演じることの楽しさを体験しながら、座員と子どもたちとのコミュニケーションを醸成していきます。</p>					

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>体験で、本公演の演目「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」の主人公、八重垣姫のセリフを語っていただきます。練習した場面が本公演で登場するため、子どもたちは興味関心を持って鑑賞できます。普段触れる機会の少ない義太夫節を体験し、独特の発声方法や節回しなど古典の面白さ、演じる楽しさを学んでもらいたい。</p> <p>人形体験では児童、生徒さんでも持ちやすいように、軽い人形を用意しています。一体の人形を三人で息を合わせて遣うことにより協調性や相手への気配りを学ぶことでコミュニケーション醸成を図ることを目的とします。共演では座員との異世代間の交流により、プロの技術を教わることで演じることの楽しさや舞台芸術に親しむ貴重な体験の機会となります。</p> <p>太夫・三味線・人形遣いの三業のワークショップを通じて、伝統芸能ならではの知恵と技の継承を学び、舞台の上で三業を融合するためには、それぞれが受け持つ役割を演じながら、お互いの連携が非常に重要となります。自分が伝えたい感情をどのように表現すればよいのか、そのためにどんな協力や工夫が必要なのかなど、子どもの成長にとって必要不可欠な発想力やコミュニケーション能力を育むとともに、人形浄瑠璃に対する理解や関心を深めることを目的としています。</p>
<p>特別支援学校での 実施における工夫点</p>	<p>担当の先生と事前の打ち合わせを十分行ないます。基本的に公演の内容変更はできませんが、児童・生徒のみなさんに太夫・三味線・人形遣いの三業の体験をしてもらえるよう、体験内容についての相談をさせていただきます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名	淡路人形座	】
演目概要・選択理由	【戎舞】			
	戎舞の上演に、お酒を注ぐ役で生徒さんも参加して頂いております。			
	【本朝廿四孝奥庭狐火の段】			
				
琴や三味線の連れ弾きの伴奏と、人形と人形遣いが一瞬で早替りする演出がみどころの、人形芝居独特の華やかな魅力溢れる演目です。				
【児童生徒のコミュニケーション能力育成】				
				
太夫の体験で大きな声をみんなで出したり、人形を三人で協力して操る体験を通じて、児童生徒の発想力やコミュニケーション能力の伸ばします。				

リンク先

No.3

【公演団体名

淡路人形座

】

舞台設営の様子



会場設営



あ わ じ に ん ぎ ょ う ざ  
淡路人形座

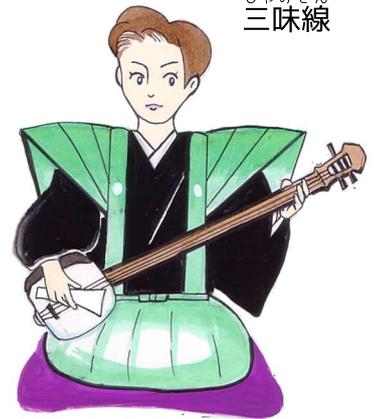
にんぎょうしばい  
～ドラマティックな人形芝居～



にんぎょう  
人形

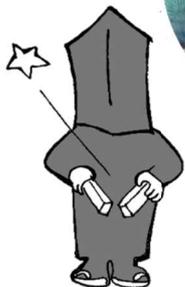


たゆう  
太夫



しゃみせん  
三味線

あわじにんぎょうじょうりり ひょうごけんあわじしま う まれた 民俗芸能です。室町時代に始まり 最も盛んだった江戸時代中期には40以上の座と呼ばれるグループがあり、日本各地に人形浄瑠璃を伝え今でも各地域のお祭りなどで盛んに行われています。人形、太夫、三味線が作り出す～ドラマティックな人形芝居～一瞬で衣装が替わる「早替り」など演出も派手で観る人を楽しませています。



にんぎょう  
人形をあやつって、  
ぶたい  
舞台に出てみよう！

たゆう  
太夫になって、みんなでいき  
あ  
を合わせて  
かた  
て語ってみよう！



ぶん かげいじゆつ こどもいっせいそごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう  
「文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～」

わ くに いちりゅう ぶん かげいじゆつ だんたい しょうがっこう ちゅうがっこう など こうえん こども すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい  
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会  
え  
を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞  
のうりよく しょうらい げいじゆつか いっせい こくみん げいじゆつ かんしょう  
能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導  
のうりよく こうじょう もくてき じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう  
を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

◆プログラム 110分

はじまりの挨拶と淡路人形浄瑠璃の紹介

「戎舞」

・・・生きてるように人形を動かして、えびすさまにお酒を飲ませて  
願いごとをかなえてもらおう。

「人形浄瑠璃教室」

・・・太夫の体験では、全員で一斉に声を出して語ります。三味線の体験  
では、三味線のリズムに合わせて手拍子を打ってもらいます。人形  
遣いの体験では、一体の人形を三人で遣ってみましょう。

～休憩（10分）～

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」・・・人形と人形遣いの衣装が一瞬で替わる「早替り」が見所です。

終わりの挨拶

◆出演者

	よしだしんくろう 吉田新九郎	よしだしこう 吉田史興	よしだとくせう 吉田徳蔵	よしだひろ すけ 吉田廣の助
人形遣い	よしだこうたろう 吉田光太郎	よしだこうじ 吉田幸路	よしだせんこう 吉田千紅	よしだせいほう 吉田青豊
	よしだししょうえい 吉田松永	よしだめいぎよく 吉田明玉		
太夫	たけもともしろう 竹本友庄	たけもともわか 竹本友和嘉	たけもともりき 竹本友里希	たけもともふ じ 竹本友富士
三味線	つるざわともや 鶴澤友勇	つるざわともや 鶴澤友弥		

◆公益財団法人淡路人形協会 淡路人形座プロフィール

1964年に発足した淡路人形座は、260年以上の歴史を誇る吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、何世代もの人々の  
創意工夫が重ねられ受け継がれた人形浄瑠璃を上演しています。1998年に重要無形文化財義太夫節三味線保持者に  
認定された故鶴澤友路の弟子をはじめ、男性10名、女性8名の座員が淡路人形座で毎日公演する一方、国内外への  
出張公演、学校への出張講座、小・中学校、高校、子供会活動の後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会へ  
の協力など、伝統人形芝居の普及発展のための活動も積極的に行っています。

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々  
が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、  
1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	G99	分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃	ブロック	G	区分	A区分
公演団体名	淡路人形座				制作団体名	公益財団法人 淡路人形協会			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	楽屋として使用				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	2台	バン	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			トラックの長さ5m				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない経路				可	
	理由			機材には非常に重たいものもあり、台車で搬入を行うため					
	設置階の制限 *			問わない				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	1.8m		可	
WSについて	参加可能人数		100名程度まで				可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可		
	所要時間の目安 単位:分	90～100分程度				可			
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		500名程度				可		
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14m	奥行	5m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖になるべく荷物が無い状態				可
		緞帳 *		不要		バトン *		不要	
	遮光(暗幕等)の要否 *		要		理由		照明を使用するため		可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)		指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		可
			ピアノの事前調律 *		不要				—
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
公演に必要な電源容量			100A		※主幹電源の必要容量			可	
その他特記事項							応相談		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

